

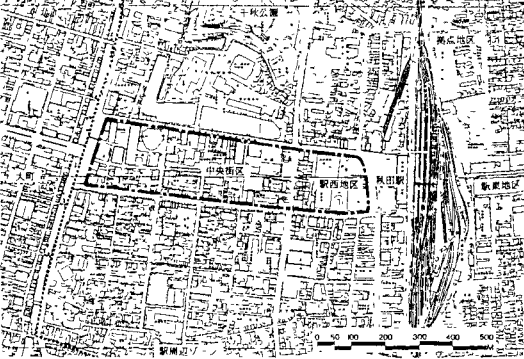
IV－2 都市拠点地区における買物行動とバス走行システムに関する考察

秋田大学 正 員 清水浩志郎
秋田大学 正 員 木村 一裕
秋田大学 学生員 ○柳原 直文

1. はじめに

近年、地方都市の都心商業地区では、商店数や買物モビリティの減少、年間販売額増加率の低下をはじめ、様々な問題に直面している。郊外幹線道路沿いの大規模なショッピングセンターの立地がこれらの一要因として挙げられるが、日曜・祝日の交通渋滞や来街客の減少に伴う規模の縮小・街全体の魅力度の低下といった都心商業地区自体にも改善すべき問題が出てきていると言える。

本研究ではこのような都市中心部が抱えているインナーシティ問題の実態を調査し、これらの問題に対応して渋滞の緩和、路線バス利用の促進、買物モビリティの増加、街全体のイメージアップ等の目的を持ったトランジットモールとしての機能を有する「周回バス」（図－1）の導入を、秋田市の駅前地区を例にして、現在の買物実態を踏まえながら検討していく。



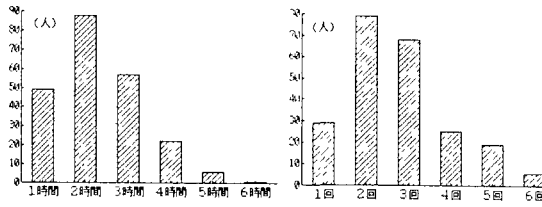
図－1 周回バスのルート

2. 調査概要

駅前地区での買物の実態を把握するためにアンケート調査を行った。買物頻度が高い女性を中心に、ドライバー、高齢者、学生（16歳以上）等も含まれるよう留意して配布を行った。秋田市全35地区に配布し、回収数801票を得た。調査期間は平成4年10月～11月であった。主な調査項目は、①個人属性②駅前地区への来街手段③駅前地区内での移動実態④周回バスの利用意識、の4点である。

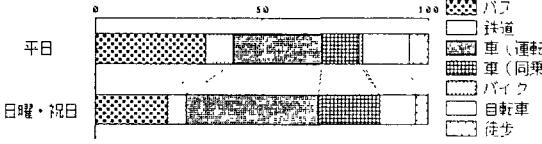
3. 買物実態

駅前地区における休日の滞在時間、訪問店舗数を図－2に示す。訪問数では1～3回が、滞在時間も1～3時間が圧倒的に多い。これは買物額に応じて店舗が1～2時間分の駐車料金負担をしている影響が大きいと思われるが、利用者に時間的余裕のある休日ですえも滞在時間や訪問店舗数が少ないことがわかる。



図－2 駅前地区における滞在時間、訪問店舗数

日曜および休日の利用交通手段を図－3に示した。日曜の車の利用は平日の1.5倍に増えている。なお、同地区の日曜における買物客数は平日の2.2倍であり、自動車利用者が多いために駐車場待ちの車両が数百mにわたって道路を占拠していることが常態化している。



図－3 日曜、平日の交通手段の違い

また、表－1ではこの地区での買物時における不満な点を示した。天候や体力的理由、駐車場前の渋滞等の制約から買物を途中でやめたことがある利用者が多い。

表－1 駅前地区における不満点

	ある	ない
歩き疲れて買物を途中でやめる事	51.1%	48.9%
時間が足りなくなり買物を途中でやめる事	70.5%	29.5%
目的地が遠くて買物を途中でやめる事	50.5%	49.5%
天候が悪くて買物を途中でやめる事	71.9%	28.1%
駐車場が混んでいて途中で引き返した事	70.7%	29.3%
車の渋滞が嫌で駅前地区に行かなかった事	88.3%	11.7%

4. 周回バスの利用意識

周回バス利用の意向を図-4に示した。無料時は67%が「利用する」としているが、1日券100円程度でも利用する人は53%と、あまり低下しないことがわかる。

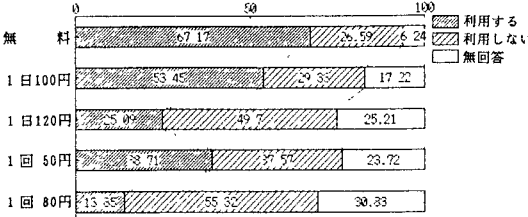


図-4 周回バスの利用意識

周回バス利用意識の要因を数量化理論Ⅱ類を用いて分析した結果(表-2)、「性別」「買物断念経験」「滞在時間」「訪問店舗数」の順で偏相関係数が高くなっている。また、年齢では高齢になるにつれて選択意識が高まっていることもわかる。

表-2 周回バス利用意識の要因分析

アイテム	カテゴリ	スコア	レンジ	偏相関係数
性別	1 男	-0.8590	1 0564	0.1254
	2 女	0.1978		
移動の不便さから買物を中断する経験	1 よくある	-0.8502	1 3044	0.1242
	2 ある	-0.0567		
	3 ない	0.4543		
駅前での滞在時間 [hou]	1 1～2未満	0.3723	1.2135	0.1189
	2 2～3未満	0.0969		
	3 3～4未満	0.0167		
	4 4～	-0.8412		
駅前での訪問店舗数	1. 1店舗	0.5050	0.8470	0.1066
	2. 2店舗	-0.3410		
	3. 3店舗	-0.0486		
	4. 4店舗	0.3272		
	5. 5店舗以上	0.4712		
職業	1 サラリーマン	-0.2880	0.7760	0.0729
	2 自営業	-0.6396		
	3 学生	0.1364		
	4 その他	0.1285		
駅前への交通手段	1. 公共交通	-0.2512	0.4539	0.0605
	2. 自家用車	-0.2028		
	3. その他	-0.0244		
年齢	1. 10代	0.0595	0.5318	0.0523
	2. 20代	0.2823		
	3. 30代	0.0178		
	4. 40代	0.0982		
	5. 50代	-0.2487		
	6. 60代	-0.0621		
外的基準		スコア平均	相関比	
駅前でも周回バスを利用する		-0.1973	0.3013	
駅前でも周回バスを利用しない		0.5136		

5. 自動車運転者の転換意識

自動車運転者の回答から、図-5には1日100円程度の低料金の周回バスが導入されたときの転換意識を示している。1日100円程度の周回バス導入時(図-5上段)を見ると「車から路線バスや鉄道等に換える」が10%、「日曜の混雑する日に限り車から路線バスや鉄道等に換える」が22%で、ある程度の転換意識はあるものの高い値とはいえない。また路線バスや鉄道を利用したとき一日何回でも周回バスに乗れる場合(同中段)と合わせると40%弱のドライバーが他の交通機関へ転換するという結果になり、このことは周回バスが日曜の交通渋滞解消につながり得ることを示している。

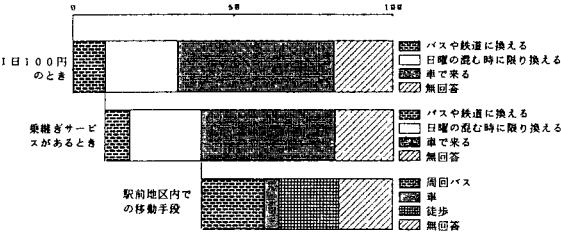


図-5 自動車利用者の交通手段変換意識

自動車運転者の転換意識に影響を与える要因を数量化理論Ⅱ類を用いて分析した(表-3)。全体での解析と同様に駅前地区での「滞在時間」「訪問店舗数」が転換意識に大きく影響することがわかった。

表-3 交通手段変換意識の要因分析

アイテム	カテゴリ	スコア	レンジ	偏相関係数
駅前での滞在時間 [hou]	1 1～2未満	0.0965	1.2341	0.2695
	2 2～3未満	0.3789		
	3 3～4未満	-0.8552		
	4 4～	-0.2887		
駅前での訪問店舗数	1 1店舗	0.1711	1.3667	0.2463
	2 2店舗	-0.2756		
	3 3店舗	-0.1763		
	4 4店舗	0.7839		
	5 5店舗以上	1.0911		
年齢	1. 10代	1.2564	1.9936	0.2081
	2. 20代	-0.1592		
	3. 30代	0.3853		
	4. 40代	0.0357		
	5. 50代	-0.3382		
	6. 60代	-0.7371		
バス利用時の所要時間 [min]	1. 1～10	-0.2861	0.8727	0.1823
	2. 11～20	-0.4117		
	3. 21～30	0.4610		
	4. 31～	0.3663		
職業	1. サラリーマン	0.1949	2.1440	0.1610
	2. 自営業	0.4581		
	3. 学生	-1.5859		
	4. その他	0.1937		
駐車料金 [円]	1. 0～300	0.1924	1.2274	0.1581
	2. 301～600	-0.1260		
	3. 600～	-0.1712		
渋滞発生による駅前への乗り入れ中断経験	1 よくある	-0.0134	0.6924	0.1555
	2 ある	-0.2019		
	3 ない	0.4205		
性別	1. 男	0.3746	0.5516	0.1457
	2. 女	-0.1770		
最寄駅までのアクセス時間 [min]	1. 1～5	0.3186	0.5929	0.1288
	2. 6～10	-0.2743		
	3. 11～15	0.1100		
	4. 16～	0.0822		
バス利用時の料金 [円]	1. 1～200	-0.3643	0.5829	0.1221
	2. 201～400	0.2186		
	3. 401～	0.0812		
鉄道利用時の所要時間 [min]	1. 1～10	-0.2711	0.7359	0.1155
	2. 11～20	0.5148		
	3. 21～	0.4726		
	4. 利用しない	-0.1045		
総駐車待ち時間 [min]	1. 0～20	0.0244	1.2120	0.1036
	2. 21～40	-0.1413		
	3. 40～60	-0.0615		
	4. 60～	1.0707		
外的基準		スコア平均	相関比	
他の交通機関に換える		-0.3027	0.4487	
日曜の混雑日に限り他の交通機関に換える		-1.2973		
やはり車で来る		0.6226		

6. おわりに

本報告では、駅前地区におけるモビリティを高めるための一つの方法として周回バスを提案した。来街者の利用実態や意識から、駅前地区での買物においては不便なことが多く、周回バスへの転換意識が高いことがわかった。今後の課題としては周回バス導入時における各交通機関への影響や、採算面での検討等が挙げられる。

最後に本研究を行うにあたり秋田市地域婦人連合会、秋田県婦人会館の方々に多大な御協力を頂いた。ここに記して感謝の意を表します。